

中島村
第6次総合振興計画

2023年度(令和5年度)

事業評価

中島村第6次総合振興計画 2023年度（令和5年度）評価一覧表

◎本事業評価は、2024年度（令和6年度）に実施しました。

◎評価は一次～三次の順に行っています。

一次評価・・・役場各部署職員。

2024年3月1日～4月12日

二次評価・・・施策評価委員会（副村長、教育長、役場各課長等）。

2024年5月21日

三次評価・・・総合開発審議会（村外部機関の長等）。

2024年6月28日

◎評価はA～Cの三段階です。

●総合評価・・・事業の有効性、社会経済情勢の変化に基づき、以下の基準で判断する。

A（順調）

おおむね期待どおりの成果が得られており、特に問題等もなく順調に進んでいる事業。

B（改善の余地あり）

目標達成に向けて遅れがみられる、又は、事業の一部に改善の余地がある事業。

C（見直し必要）

目標達成に向けて大幅な遅れが見られる、又は、事業内容を大きく見直す必要がある事業。

【基本目標1 心豊かな子どもを育み自己を磨き続けるむら】

施策 番号	施策	個別 番号	個別事業	主幹課 担当課	個別 評価	1次 評価	2次 評価	3次 評価
1	子育て支援の推進			保健福祉課				
		①	相談体制の充実	保健福祉課	A	A	A	A
		②	子育て事業の周知	保健福祉課	A			
2	子育て家庭の負担軽減			学校教育課				
		①-1	保育料等無料化事業	保育所	A	A	A	A
		①-2	保育料等無料化事業	幼稚園	A			
		②	給食費無料化事業	幼稚園	A			
		③	ひとり親家庭医療費 助成事業	保健福祉課	A			
3	保育所の充実			保育所				
		①	保育所施設の整備	保育所	A	B	B	B
		②	ICT関係の導入	保育所	B			
		③	地域子育て支援事業	保育所	B			
		④	保育士の資質向上	保育所	A			
4	教育活動の充実・支援			学校教育課				
		①	確かな学力を育む教育の推進	学校教育課	A	A	A	A
		②	豊かな心を育む教育の推進	学校教育課	A			
		③	健やかな体を育む教育の推進	学校教育課	A			
5	国際理解教育の推進			学校教育課				
		①	マレーシアへの修学旅行	学校教育課	A	A	A	A
		②	異文化体験学習	学校教育課	A			
		③	外国語指導助手の配置	学校教育課	A			
6	安全・安心な学校施設の整備と教育環境の充実			学校教育課				
		①	各教育施設の修繕改修	学校教育課	A	A	A	A
		②	大規模改修計画	学校教育課	A			
		③	プールの安全管理	学校教育課	A			

7	幼児教育の充実			幼稚園				
		①-1	幼・保・小の連携・ 接続	幼稚園	A	A	A	A
		①-2	幼・保・小の連携・ 接続	保育所	A			
		②	幼児教育の充実	幼稚園	A			
		③	教育環境の整備充実	幼稚園	A			
		④	教職員の資質向上	幼稚園	A			
8	子どもの健全育成を 目指す児童館運営の充実			児童館				
		①	児童クラブの充実	児童館	A	A	A	A
		②	子育て支援・体制交 流活動の充実	児童館	A			
		③	学習支援の充実	児童館	A			
		④	職員の資質向上	児童館	A			
9	自己を磨き続ける生涯 学習活動の推進			生涯学習課				
		①	社会教育団体・文化 団体等への活動支援	生涯学習課	A	A	A	A
		②	学習機会の拡充と学 習内容の充実	生涯学習課	A			
		③	文化活動の推進	生涯学習課	A			
		④	地域・学校・家庭の 連携とボランティア 活動の推進	生涯学習課	A			
10	生涯学習環境の整備・充 実			生涯学習課				
		①	生涯学習センター輝 ら里の適正管理・有 効活用	生涯学習課	A	A	A	A
		②	各種イベント開催に 対応した施設整備	生涯学習課	A			
		③	生涯学習情報の提供	生涯学習課	A			
		④	図書室の利用促進	生涯学習課	A			

11	文化財保護と伝統文化の継承			生涯学習課				
		①	文化財の保護と村民への周知	生涯学習課	A	A	A	A
		②	伝統文化の継承活動支援	生涯学習課	A			
		③	四穂田古墳出土品の活用	生涯学習課	A			
12	生涯にわたるスポーツライフの推進			生涯学習課				
		①	スポーツ指導者の育成	生涯学習課	A	A	A	A
		②	地域スポーツ活動の推進	生涯学習課	A			
		③	スポーツ施設の整備・改修	生涯学習課	A			
13	人材育成の推進			企画振興課				
		①	人材育成支援事業	企画振興課	B	B	B	B
		②	人材育成事業	企画振興課	B			

【基本目標2 みんながいきいき暮らせるむら】

14	健康づくりの推進			保健福祉課				
		①	各種健診及び検診の実施	保健福祉課	A	A	A	A
		②	健康意識の高揚	保健福祉課	A			
		③	受診勧奨、保健指導の充実	保健福祉課	A			
15	豊かなシニアライフ			保健福祉課				
		①	高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の策定	保健福祉課	A	A	A	A
		②	介護予防事業の推進	保健福祉課	A			
		③	ふれあいサロン事業	保健福祉課	A			
		④	地域包括ケアシステムの充実	保健福祉課	A			
16	障がい者への支援			保健福祉課				
		①	適正な福祉サービスの提供	保健福祉課	A	A	A	A
		②	障がい者への情報発信	保健福祉課	A			
17	見守りの強化・支援			保健福祉課				
		①	見守りネットワーク体制の確立	保健福祉課	A	A	A	A
		②	成年後見制度の利用支援	保健福祉課	A			
		③	家族介護への支援	保健福祉課	A			
		④	福祉相談活動の充実	保健福祉課	A			

【基本目標3 みんながで作り上げるむら】

18	地域コミュニティの活性化			住民生活課				
		①	行政区加入推進活動	住民生活課	A	A	A	A
		②	行政区運営にかかる助成	住民生活課	A			
19	村民の行政参画			総務課				
		①	パブリックコメントの募集	総務課	A	A	A	A
20	行政サービスのDX			総務課				
		①	中島村DX基本方針（仮称）の策定	企画振興課	A	A	A	A
21	職員の人材育成			総務課				
		①	人事評価制度の活用	総務課	A	A	A	A
		②	職員研修の充実	総務課	A			
22	健全な財政の維持			総務課				
		①	納税者が納税しやすい体制整備	税務課	A	A	A	A
		②	ふるさと納税の拡充	企画振興課	A			
23	男女共同参画			総務課				
		①	女性委員（役員）の積極的な登用		A	A	A	A

【基本目標4 安全・安心して暮らせるむら】

24	防災体制の充実			住民生活課			
		①	防災情報発信手段の充実	住民生活課	A	A	A
		②-1	ハザードマップで危険箇所指定されている箇所への対応	住民生活課	A		
		②-2	ハザードマップで危険箇所指定されている箇所への対応	建設課	A		
		③	防災組織・協力関係の強化	住民生活課	A		
		④	防災用品等の拡充	住民生活課	A		
25	消防体制の確立			住民生活課			
		①	消防体制の維持・強化	住民生活課	A	A	A
		②	消防設備更新	住民生活課	A		
		③	各種災害訓練	住民生活課	A		
26	防犯・交通安全の充実			住民生活課			
		①	防犯施設整備	住民生活課	A	A	A
		②	防犯意識の高揚	住民生活課	A		
		③	交通安全対策	住民生活課	A		
27	医療体制の確保			保健福祉課			
		①	救急医療体制の充実	保健福祉課	A	A	A
		②	県南地方の医師確保	保健福祉課	A		
28	風評被害払拭			住民生活課			
		①	自家消費野菜等放射線量測定事業	住民生活課	A	A	A
		②	ブランドイメージ回復支援事業	企画振興課	A		

【基本目標5 環境豊かで快適な住みよいむら】

29	道路の整備			建設課				
		①	道路の整備	建設課	A	A	A	A
		②	歩道（通学路）の整備	学校教育課	A			
		③	県道（バイパス）整備の推進	建設課	A			
		④	農道長寿命化事業	建設課	A			
		⑤	道路・橋梁の維持管理	建設課	A			
30	簡易水道施設の維持管理			建設課				
		①	簡易水道施設の維持管理	建設課	A	A	A	A
		②	施設機器等の計画的な更新	建設課	A			
		③	水道本管等の漏水調査・更新	建設課	A			
		④	第三水源（井戸水）及び浄水場の維持管理	建設課	A			
31	農業集落排水処理施設の維持管理			建設課				
		①	農業集落排水処理施設の維持管理	建設課	A	A	A	A
		②	処理施設等機器の計画的な更新	建設課	A			
		③	不明水対策等の実施	建設課	A			
32	童里夢公園の整備・活用			建設課				
		①	遊具の点検、修繕	建設課	A	A	A	A
		②	設備の計画的な修繕	建設課	A			
		③	遊歩道の整備	建設課	A			
33	農村公園及び地区公園の整備			建設課				
		①	農村公園・地区公園の活用	建設課	A	A	A	A

34	住宅環境の整備			建設課				
		①	耐震診断者派遣事業の活用	建設課	A	A	A	A
		②	公営住宅長寿命化計画による計画的な修繕	建設課	A			
35	地域交通体制の充実			住民生活課				
		①	デマンド交通の住民への周知	住民生活課	A	A	A	A
		②	デマンド交通利用者アンケート実施	住民生活課	A			
36	環境への取り組み			住民生活課				
		①	ごみの減量化・リサイクルの促進	住民生活課	A	A	A	A
		②	生垣整備事業	企画振興課	B			
		③	人材育成事業	企画振興課	A			
37	移住・定住の促進			企画振興課				
		①	移住定住 PR パンフレット作成業務	企画振興課	B	B	B	B
		②	福島県移住支援金給付業	企画振興課	B			
38	移住・定住環境の整備			建設課				
		①	空き家調査	建設課	B	B	B	B
		②	空き家バンクの導入	建設課	A			
		③	原山分譲地の販売	建設課	B			

【基本目標6 地域の活力を活かしたむら】

39	土地の有効利用			企画振興課				
		①	国土利用計画の見直し	企画振興課	A	A	A	A
		②	農業振興地域整備計画の見直し	企画振興課	A			
		③	地域森林計画の見直し	企画振興課	A			
40	農業の支援・振興			企画振興課				
		①	多様な担い手の確保・育成	企画振興課	B	A	A	A
		②	地域計画（人・農地プラン）	企画振興課	A			
		③	農地流動化対策の推進	企画振興課	A			
41	有害鳥獣への対応			企画振興課				
		①	有害鳥獣駆除	企画振興課	A	A	A	A
		②	担い手の育成	企画振興課	A			
		③	有害鳥獣被害防止の支援	企画振興課	A			
42	企業誘致と雇用の確保			企画振興課				
		①	企業誘致の推進	企画振興課	B	B	B	B
		②	既存企業との連携強化	企画振興課	B			
43	商業の支援			企画振興課				
		①	村内外から集客できる魅力ある商店づくりの支援	企画振興課	A	A	A	A
		②	商業の支援	企画振興課	A			
44	観光基盤の整備			企画振興課				
		①	観光基盤の充実や誘客の推進	企画振興課	A	A	A	A
		②	特産品の開発	企画振興課	A			

基本目標	1 心豊かな子どもを育み自己を磨き続けるむら
施策名	施策1 子育て支援の推進
施策主幹課	保健福祉課
関係課	

2023年度の取り組み

- 母子健康手帳交付、離乳食教室、乳幼児健診（4か月児・1歳6か月児・3歳児）、乳幼児健康相談（9～10か月児・2歳児）等で相談業務を実施した。
- 子育てに関するリーフレット等の配布は行ったが、村独自のガイドブックの作成までは至らなかった。

施策の評価

総合評価 A

- 子育て世帯への相談業務により、相談者の不安や悩みをその都度解決したり、軽減することができた。継続して相談する方もいて、切れ目のない支援を実施することができた。
- 子育てに関するリーフレット及び県からの子育て情報を配布することができた。村独自でガイドブックを作成するにあたり、子育て世帯がどのような情報が欲しいかを吟味し、作成したい。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
心理相談報酬・費用弁償	1,350		
乳幼児健診・発達相談会事業	1,223		
		合計	2,573

事業業績評価指数（KPI）

KPI名	区分	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
※施策目標なし						

今後の取組

- 今後も子育て世帯への相談業務を実施し、切れ目のない支援を継続していく。
- 関係課と協力し、村独自でガイドブックを作成するにあたり、子育て世帯がどのような情報が欲しいかを吟味し、作成したい。

基本目標	1 心豊かな子どもを育み自己を磨き続けるむら
施策名	施策2 子育て家庭の負担軽減
施策主幹課	保健福祉課
関係課	学校教育課、保育所、幼稚園

2023年度の取り組み

- 保育料の無料化により、子育て世帯への経済的支援を行った。
- 幼稚園の保育料（預かり保育料等）無料化。
- 中島村在住の保護者を対象に、村内の幼稚園、小学校、中学校に通う児童生徒の給食費を無料とした。
- 村外の幼稚園、小学校、中学校に通う児童生徒の給食費に対しては、中島村で定める給食費の額を上限に申請により補助金を交付した。
- ひとり親家庭への医療費一部助成を行った。

施策の評価

総合評価

A

- 保護者の負担を軽減することにより、安心して子どもを産み育てる環境や、働きやすい環境づくりを推進することができた。
- 幼稚園の保育料（預かり保育料等）無料化を継続して実施し、子育て家庭への負担軽減を図ることができた。
- 物価高騰の時勢にも相まって、一人につき年間44,800円から64,400円の負担軽減は大きなものであり、他市町村からの移住先を検討する判断材料の一つに挙げられると考える。
- 受益者にとってこの施策は大きなメリットであるため、今後も継続していきたい。
- 納付金の滞納がないことを条件とするため、納付金の納付促進にも寄与している。
- ひとり親家庭への医療費一部助成により、健康と福祉の増進が図られた。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
保育料の無料化	9,116	ひとり親家庭医療費助成	778
幼稚園保育料等の無料化	696		
給食賄材料費（5月初旬確定）	32,178	合計	42,768

事業業績評価指数（KPI）

KPI名	区分	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
※施策目標なし						

今 後 の 取 組

- 子育て家庭への経済的支援として、保育料の無料化を継続していく
- 子育て家庭への経済的支援として、幼稚園保育料等の無料化を継続していく。
- 無料化事業を引き続き実施していくとともに、定期的な調査を行い滞納金の納付を促していく。
- ひとり親家庭は増加傾向であるため、医療費の一部助成を継続することで今後も医療費の負担を軽減していく。

基本目標	1 心豊かな子どもを育み自己を磨き続けるむら
施策名	施策3 保育所の充実
施策主幹課	保育所
関係課	

2023年度の取り組み

- 月1回、安全点検と避難訓練の実施。
- 外部講師を招き職員の防犯研修の実施や入所児対象の交通安全教室実施。
- 不審者侵入防止のため環境を整備した。
- 保育所の緊急連絡等はママ連システムを導入しており、保育所の感染症の状況やお弁当等のお知らせ、その他緊急時などシステムを活用した。
- デイサービス訪問を実施し、高齢者との交流を図った。
- 登録していない児童の一時預かり利用について、保護者の通院や幼稚園や小学校の行事など、保護者のニーズに応じて対応してきた。
- キャリアアップ研修会や、地区の研修会など自発的に出席した。また、研修後は、会議等で研修内容の伝達を実施している。
- 年2回、職員の自己評価を実施し、その結果を保護者へ公表した。

施策の評価

総合評価 B

- 不審者侵入防止のため、アルミフェンスの設置や生垣等にネットを張るなどの対応、ネットランチャーの講習受講で子ども達の安全な環境作りに配慮してきた。また、子ども達向けに「ふくしまキッズマンの交通安全教室」を実施したことで、交通ルールを学ぶことができた。
- 避難訓練だけでなく、再度、避難時の必要な用品を確認し、いざという時の対応を整備していく必要がある。
- 感染症状況について、保護者へいち早く情報を提供することができ、感染症の蔓延を防ぐことができた。
- まだまだ、紙媒体でのやり取りがほとんどであるため、利便性にかける部分がある。
- 高齢者との交流は、新鮮で、お互いにより刺激となっている。
- 年間で一時利用の登録を実施していることで、急な利用でも対応でき、保護者支援につながった。
- 2026年度よりこども誰でも通園制度が予定されていることから、一時利用と親子での自由来所など登録していない家庭への利用について検討していく必要がある。
- それぞれ、自己課題に沿った研修に参加し、更に、研修受講後の伝達を実施することでスキルアップにつながっている。また、古い情報から現時点の新しい情報を得る事ができている。
- オンライン研修も増えていることから、研修も受けやすくなっている。職員18名中13名の職員が研修を受講した。
- 自己評価を実施したことで、保育の振り返りができ、より良い保育につながっている。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
アルミフェンス購入	76		
一時預かり事業の無料化	103		
		合計	179

事業業績評価指数（KPI）

KPI名	区分	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
※施策目標なし						

今後の取組

- 引き続き点検を実施しながら安全対策を実施するとともに、災害時の対応として必要な用品等を購入し、万が一に備えていく。
- まずは、保護者用アプリを導入し、連絡帳等のやり取りや保育所からのお知らせ等紙媒体ではなくアプリで対応できるよう、保護者へ丁寧に説明をし理解を深めていく。
- 更に、幅広い対応ができるように利便性を図っていく。
- 高齢者との交流については、計画的に進めていく。
- 一時利用について、定期的な利用者があるため保護者のニーズに対応しながら継続的に実施していく。また、今後、こども誰でも通園制度が2026年度から予定されていることから、対応に向けて検討していく。
- 引き続き、研修会の内容を周知し、全員が積極的に受講でできる体制を作っていく。
- また、研修の伝達を実施していくことで、保育の質の向上を図っていく。

基本目標	1 心豊かな子どもを育み自己を磨き続けるむら
施策名	施策4 子育て支援の推進
施策主幹課	保健福祉課
関係課	

2023年度の取り組み

- 母子健康手帳交付、離乳食教室、乳幼児健診（4か月児・1歳6か月児・3歳児）、乳幼児健康相談（9～10か月児・2歳児）等で相談業務を実施した。
- 子育てに関するリーフレット等の配布は行ったが、村独自のガイドブックの作成までは至らなかった。

施策の評価

総合評価

A

- 子育て世帯への相談業務により、相談者の不安や悩みをその都度解決したり、軽減することができた。継続して相談する方もいて、切れ目のない支援を実施することができた。
- 子育てに関するリーフレット及び県からの子育て情報を配布することができた。村独自でガイドブックを作成するにあたり、子育て世帯がどのような情報が欲しいかを吟味し、作成したい。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
心理相談報酬・費用弁償	1,350		
乳幼児健診・発達相談会事業	1,223		
		合計	2,573

事業業績評価指数（KPI）

KPI名	区分	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
※施策目標なし						

今後の取組

- 今後も子育て世帯への相談業務を実施し、切れ目のない支援を継続していく。
- 関係課と協力し、村独自でガイドブックを作成するにあたり、子育て世帯がどのような情報が欲しいかを吟味し、作成したい。

基本目標	1 心豊かな子どもを育み自己を磨き続けるむら
施策名	施策5 国際理解教育の推進
施策主幹課	学校教育課
関係課	

2023年度の取り組み

- 2020年度から新型コロナウイルス感染症により中止していた中学3年生の修学旅行先を、4年ぶりにマレーシアとして実施した。
- 昨年度に引き続き、小学6年生、中学1～3年生を対象に、ブリティッシュヒルズにて異文化体験活動を行った。(小学6年生は一泊、中学生は日帰りで実施。)
- 外国語指導助手を2名配置することによって、各学校での英語教育の充実化を図った。

施策の評価

総合評価 A

- 過去に実例があっても、新型コロナウイルス感染症のパンデミックを経験してきた保護者は実施前説明の時点では、反対とまではいかずとも大きな不安を抱えている方が一定数見られた。
- 教育委員会の事前視察を基に数名保護者への説明を行い、実施の承諾を得ることができた。
- 実際にマレーシアへ赴いた生徒からは「行ってよかった」、「外国に興味を持った」などの意見が多数聞かれ、国際社会への足がかりになる事業だと実感できた。
- 天栄村にあるブリティッシュヒルズでの異文化体験活動を小学6年生から中学3年生までの4年間において実施し、英語によるコミュニケーション能力の育成を図っている。
- 毎年異文化体験学習を実施することにより段階的に英語に慣れ親しみ、中学3年生のマレーシア修学旅行の交流会で英会話が実践できることを長期的な目標とし、今年度の修学旅行では積極的な交流への姿勢が見て取れた。
- 外国人指導助手を配置することによって、小・中学校で行われる外国語教育の充実へとつながった。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
中島中学校海外修学旅行補助金	9,347	中学校異文化体験学習委託料	1,742
修学旅行引率者委託(教委分)	522	ALT設置費用	4,300
小学生異文化体験活動	1,556	合計	17,467

事業業績評価指数 (KPI)

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
マレーシアでの研修は有意義であったかのアンケート満足度 (%)	目標値	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
	実績値	97.3				
	達成度	108.1%				
外国語指導助手配置 (人)	目標値	2	2	2	2	2
	実績値	2				
	達成度	100.0%				
異文化体験学習 (回/年)	目標値	4	4	4	4	4
	実績値	4				
	達成度	100.0%				

今後の取組

- 今後もマレーシアへの修学旅行を実施し、グローバルな感性を持てる人材育成を行う。
- 今後も継続してブリティッシュヒルズでの体験活動を実施し、英語に慣れ親しむ機会の提供及び英語によるコミュニケーション能力の育成に努める。
- 今後も継続して外国語指導助手を確保・配置に努め、英語教育の充実に努める。

基本目標	1 心豊かな子どもを育み自己を磨き続けるむら
施策名	施策6 安全・安心な学校施設の整備と教育環境の充実
施策主幹課	保健福祉課
関係課	

2023年度の取り組み

- 各学校において、校舎内外、設備、外構など施設全体のいたるところの修繕や改修を行った。
- 大きなものは、滑津小学校のエキスパンション部改修工事、吉子川小学校のFF暖房機更新工事、中島中学校の教壇、体育館トイレ改修工事、中島幼稚園の照明LED更新工事などが挙げられる。

施策の評価

総合評価 A

- 各学校共に建築から相当な年数が経過しており幼稚園でも築18年を数え、修繕が必要な箇所が毎年挙がっている。
- しかし、毎年、優先順位を付けるなどして、計画的に箇所箇所修繕を行い安全な学校運営ができています。
- 校舎の劣化・老朽化の進行度合いを調査し、改修箇所を選定し工事内容を決定した。
- 今回、校舎躯体の手入れは繰越としたが、十数年経過後には改築または躯体改修の検討が必要となる。
- 内装の改修までも手掛けるには相当の資金を要するため、資金の確保や劣化の程度などによる回収が必要な箇所の把握や選定が重要となる。
- 滑津小学校プールについてはしばらくの間、手入れを要することなく使用できる状態となった。
- 吉子川小学校プールについては根本的な解決策がないため、毎年のチェックと事前対策が重要である。
- 中島中学校についても修繕の要望が出ているため、状況に応じた対応を取っていく。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
エキスパンション部改修工事	25,843	南側囲い改修工事	1,375
職員室扉改修工事	1,540	中学校大規模改修設計作成	29,700
FF暖房機改修工事	1,210	滑津小学校プール改修工事	2,750
教壇、体育館トイレ改修工事	1,595	吉子川小学校プールケレン修繕	117
園舎照明LED改修工事	2,420	合計	66,550

事業業績評価指数（KPI）

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
中学校大規模改修	目標値	100	50	100	完了	
	実績値	100				
	達成度	100.0%				

設計 改修工事 改修工事

今後の取組

- 学校からの要望をもとに適切な手入れ箇所を選定したうえで予算要求を行い、安全な学校環境の構築に努める。
- 今後、大規模な改修や改築が必要となってくるため、資金確保と適切な計画の策定が必要である。
- 2024～2025 年度の 2 か年で中学校予防改修工事として、屋上防水、外壁改修、貯水槽の更新を行う。
- 2026 年度以降の大規模な改修については、点検、検査を実施しながら適宜検討していく。
- 昨今、学校プールの在り方について議論されており、少子化や維持費などの問題に対して集約化や他施設の利用などが挙げられているため、本村においても検討していく。

基本目標	1 心豊かな子どもを育み自己を磨き続けるむら
施策名	施策7 幼児教育の充実
施策主幹課	幼稚園
関係課	保育所、学校教育課

2023年度の取り組み

- 幼稚園・保育所・小学校との交流や情報の共有。
- 合同研修会や授業参観。
- 教育委員会主催の特別支援教育研修会へ参加。
- 2歳児が幼稚園へ訪問し、遊ぶ機会をつくった。
- 幼稚園就園前の2歳児について、情報共有の実施。
- 日々の保育活動や体験活動の充実。
- 地域の資源や人材等の活用。
- 専門講師を招聘しての保育活動。
- ICT機器を活用しての保育活動。
- 施設の整備。
- 教材教具の充実。
- 先進園視察や研修の充実。
- ゲストティーチャーの活用。
- 小・中学校との合同研修や各種会議。

施策の評価

総合評価

A

- 幼保小での情報交換や交流会を通して、共通の考え方や指導体制等発達や学びの連続性を確保することができた。
- 幼保小の連携で「支援を必要とする子どもへの理解と対応」について情報共有を図ることで、それぞれの立場で今後活かして行ける知識を得ることができた。
- 保育所による幼稚園訪問によって、子ども達の不安を取り除き、期待感を膨らませることができた。また、情報を共有することで、切れ目のない保育につながってきている。
- 幼稚園において年間計画に基づいた自然・社会体験活動を実施し、豊かな感性と規範意識の醸成を図ることができた。
- 地域人材を活用して保育活動を行うことで、教育活動の充実と特色ある幼稚園づくりができた。
- 発達段階に合った知育教材やICT機器を活用した保育活動を行うことで、園児の興味関心を高めることができた。
- 教材提示装置やモニター無線接続器を設置し、ICT機器の充実が図られ、園児の思考力や想像力等多くの学びを経験することができた。
- 保育所南側囲い等の施設修繕を実施し、安全な教育環境整備に努めた。
- 先進園（私立・公立）視察を実施し、そこからの学びを園の教育に活かし職員の指導力の向上が図られた。
- 様々なゲストティーチャーを活用して、幼児教育の充実や教師の指導力向上に努めた。
- 園内研修の中で教材の研究や外部研修にも積極的に参加し、資質向上に努めた。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
専門講師招聘	95	教材教具	752
体験活動	339	研修の充実	115
施設整備工事	5,335	合計	6,636

事業業績評価指数 (KPI)

KPI名	区分	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
自然体験・社会体験活動 (回/年)	目標値	9	9	9	9	9
	実績値	9				
	達成度	100.0%				
郷土教育の実施回数 (回/年)	目標値	1	1	1	2	2
	実績値	1				
	達成度	100.0%				
幼保小の情報交換会 (回/年)	目標値	5	5	5	5	5
	実績値	5				
	達成度	100.0%				

今後の取組

- 幼児期における発達や学びの連続性を確保するために、幼保小の連携・交流に努める。
- 定期的な交流ができるように、計画的に進めていく。
- 子どもの興味・関心・発達段階に即した指導を工夫し、学年の終わりまでに育てほしい姿に近づくよう、環境や遊びを通じた総合保育活動の充実に努める。
- 幼稚園教育は環境を通して行われることから、園舎等の維持管理に努め安心・安全な環境整備すると共に、価値の高い教材教具の充実に努める。
- 質の高い保育活動を行うために、自己研修や先進園視察、ゲストティーチャーの活用、小・中学校との連携による研修会等により、指導力及び資質の向上に努める。

基本目標	1 心豊かな子どもを育み自己を磨き続けるむら
施策名	施策8 子どもの健全育成を目指す児童館運営の充実
施策主幹課	児童館
関係課	

2023年度の取り組み

- 日中保育する者のいない家庭の小学生（1～6年生）を対象に事業を実施した。各種感染症対策等、児童館の施設を有効活用しながら適切な遊び場や学習の場を与えて健全育成を図るとともに、保護者や小学校との連携のもとで、個々の育ちの状況を理解し個々に応じた育成支援を展開してきた。
- 2023年度入所児童数 105名（4/1現在）
- 途中登録児童数 0名
- 一時利用児童件数 277件（登録者数 37名）
- 小学生対象の「中島ジュニアクラブ」と、未就学児対象の「なかじまキッズクラブ」を通し、ポウリング大会、絵手紙教室、親子リズム教室、白河だるま作りなど、様々な体験活動を実施することができた。
- 学習支援の3つの柱である①年間を通した学習支援（放課後児童クラブと中島ジュニアクラブの学習支援）、②長期休業中の学習支援（小4～6、中1～3）、③土曜学習による学習支援（中3対象）を児童館と村の施設を有効活用して、地域の方々や近隣の高校生や大学生ボランティアの協力を得ながら、充実した事業を展開できた。各種感染症対応を講じながら、参加した児童・生徒に「参加して良かった」という感想が聞かれるなど、大きな成果を上げることができた。
- 職員の資質向上を図るために各種講習会に参加した。今後も有事の際、冷静に的確にそして迅速に対応できるよう職員のスキルアップを目的とする。

施策の評価

総合評価

A

- 母親が出産のために退会し、一時的保育への切り替えする児童が3名。その他は、下校時間が遅くなり留守番できるようになったため等の理由で、一時的保育への切り替えをする児童が多かった。一時的保育の実利用児童数は22名だった。
- 生活スケジュールに基づき支援を行うことにより、基本的な生活・学習習慣の形成と社会性の醸成を図ることができた。
- 親子や他校児童との交流、異年齢交流、地域の方々との充実した活動が地域の多くのボランティアの協力のもと行うことができ、子ども達やボランティアに参加した生徒の豊かな情操を育むことができた。また、高齢者との活動（パークゴルフ体験）を体験することができた。
- 小・中学生のニーズに合った学習支援を展開することができた。
- 特別支援研修会、AED講習会、不審者対応講習会に参加し、資質向上を図ることができた。今後も有事の際において冷静に的確にそして迅速に対応できるよう、各種講習会を受講することで職員のスキルアップをしていきたい。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
子ども子育て支援国庫補助金 (放課後児童健全育成事業)	7,240	中島ジュニアクラブ・なかじまキッズ クラブ講師謝礼	82
子ども子育て支援県補助金 (放課後児童健全育成事業)	6,528	学習支援事業(小中学生合算)	1,689
		各種研修会参加費	62
児童館体験事業	432	合計	16,033

事業業績評価指数 (KPI)

KPI名	区分	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
児童クラブでの体験交流 活動(回/年)	目標値	25	25	25	25	25
	実績値	20				
	達成度	80.0%				
小学生及び未就学児体験 交流活動(回/年)	目標値	25	25	25	25	25
	実績値	25				
	達成度	100.0%				
学習会の満足度アンケート (%)	目標値	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
	実績値	87.6				
	達成度	109.5%				

今後の取組

- 児童クラブ運営の質的向上を図るための、運営内容の見直しと検討。
- 各種感染症対策に対応した事業展開。
- 児童館ならではの体験交流活動の実施についてさらに検討する。
- 各種感染症に対応した事業展開。
- 小中学生の学習意欲の向上・継続に向けた運営の工夫、改善。
- 学習支援の地域ボランティアの発掘と、継続して参加したいと思えるような活動内容の工夫。
- 各種感染症対策の継続。
- 児童館職員の質的向上を図るために、各種研修会に参加する。

基本目標	1 心豊かな子どもを育み自己を磨き続けるむら
施策名	施策9 自己を磨き続ける生涯学習活動の推進
施策主幹課	生涯学習課
関係課	

2023年度の取り組み

- 中島村文化団体連絡協議会の各団体に対する活動支援を行った。
- 文化講演会を通常で開催している。
- 新型コロナウイルス感染症の影響が緩和され、各種教室を通常開催した。
- 11月3～4日の2日間、村民文化祭を開催した。感染予防対策を行い活動や発表の場を確保できるよう文化団体等を支援し、誰もが気軽に文化に触れることができる環境づくりに努めた。
- 生涯学習センター輝ら里エントランスの一角に「村民ギャラリーコーナー」を設け、各種団体・個人作品の展示を定期的に行った。
- 子ども教室等に、地域の方々が講師やボランティアとして参加した。
- 人材バンク登録者の見直し（更新）と募集を実施した。

施策の評価

総合評価 A

- 1年間の活動の成果を発表する各団体参加の芸能発表会は、コロナ禍後としては通常で開催ができた。
- 文化講演会は、基本的感染症対策は行ったが通常開催となり、多くの来場者が訪れ好評を博した。
- 村民文化祭はコロナ禍の影響が無くなり、昨年とほぼ同様の出品数であり、すべての部門の作品が充実し、参加者・来館者からは大変喜ばれた。
- 「村民ギャラリーコーナー」は、各種団体・個人作品の展示を定期的に行うことにより、作品発表の新しい機会となった。
- 書道や絵画の講師の活動に地域の人材を積極的に活用することが出来た。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
文化団体連絡協議会補助金	430	村民ギャラリー展示事業費	11
文化講演会	909	子ども教室謝金	26
各種教室講師謝金	238		
村民文化祭事業費	563	合計	2,177

事業業績評価指数（KPI）

KPI名	区分	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
新たな公民館事業回数 (回/年)	目標値	2	2	2	3	3
	実績値	2				
	達成度	100.0%				
公民館事業（ナイスデイ、クラ フ、書道、絵画、英会話）の 事業回数（回/年）	目標値	62	64	66	68	71
	実績値	80				
	達成度	129.0%				

今後の取組

- 会員の高齢化により文化団体が減少している。新規団体を増やす方策を検討する必要がある。
- 各教室への参加者を増やすため、村民のニーズにあった各講座、教室や内容を検討する。
- 各種事業開催の際は、感染症の流行状況等で予防対策が必要である。
- 出品数や出展数は増えたが、出品者が固定化し、高齢化傾向にある。若者の参加者が増えるような取組の工夫が必要である。
- 中島村社会福祉協議会のボランティアセンターと協議しながら、人材ボランティアを増やす方策を検討する。

基本目標	1 心豊かな子どもを育み自己を磨き続けるむら
施策名	施策10 生涯学習環境の整備・充実
施策主幹課	生涯学習課
関係課	

2023年度の取り組み

- 生涯学習センター「輝ら里」施設としては、コロナ禍後についても感染症の流行状況に応じた予防対策を行い、また、住民ニーズ及び利用者の安全に配慮した安全対策・補修等を実施している。
- コロナ禍の行動制限解除からは、顔認証型サーマルカメラの設置は撤去しているが、手指消毒等の基本的感染対策は継続して行っている。
- 施設アリーナの照明状況改善のためにLED照明を増設し、また、通路部分のセンサー式照明スイッチを導入した。
- 生涯学習情報については、中島村ホームページや広報なかじまの「生涯学習つうしん」、図書だより、生涯学習センター内お知らせコーナーを通したチラシの配布等により情報を提供した。
- 生涯学習情報については、中島村ホームページや広報なかじまの「生涯学習つうしん」、図書だより、生涯学習センター内お知らせコーナーを通したチラシの配布等により情報を提供した。
- 新年やハロウィンなどの行事を活用した福袋や簡易なプレゼントの提供、読書マラソンや図書マスターなどの取り組みによって、読書活動への意欲づけがともに図られた。

施策の評価

総合評価 A

- アリーナ、和室については、サークルや各講座、企業の研修等、幅広く利用されているが、コロナ禍の影響で減少していた使用者数は、回復傾向にある。
- エントランスホールは、文化財や個展を展示している。また、図書室については図書貸し出し閲覧のほか、中高校生が自主学習する場として利用できている。
- 生涯学習センター「輝ら里」について、住民ニーズ及び利用者の安全を考慮した安全対策・補修等を実施した。
- 中島村ホームページや広報、輝ら里内の掲示板、図書だよりなどを通して情報提供を行った。
- 2013年度より実施している読書マラソン、図書室マスターの表彰、お話会などの工夫した取り組みにより貸出人数は前年同程度だった。幼稚園児は定期的に図書室を訪れ、本に触れあう体験活動も恒例化している。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
正面自動ドア修繕	187	読書普及推進費	131
エアコン修繕等対応	221	図書購入費	896
照明増設・廊下照明センサー増設工事	1,045	合計	2,480

事業業績評価指数（KPI）

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
輝ら里利用者数 (村民に対する割合) (%)	目標値	17.5	17.8	18.1	18.4	18.7
	実績値	19.0				
	達成度	108.6%				
輝ら里図書室の貸出冊数 (村民一人あたり) (%)	目標値	3.4	3.6	3.8	4.0	4.2
	実績値	3.2				
	達成度	94.1%				

今 後 の 取 組

- 基本的な感染症予防対策など適切な衛生管理を今後も継続し、施設利用者の安全のために引き続き実施する。
- 生涯学習の理念である「誰もが、いつでも、どこでも、学びたいときに学べる」学習づくりのために、住民のニーズを把握し、企画・運営の工夫により学習意欲を高めるプログラムを検討する。
- 住民ニーズは多様であり、多額の財源を伴うものもあるが、生涯学習の拠点施設である「輝ら里」の整備充実に努めていく。
- 図書室内のインターネットなどの活用の在り方について今後検討していく。
- 新着図書の紹介、展示の工夫や作家の特設コーナーなど、読書に親しんでもらえる企画を工夫する。
- 図書カード所有者数について、亡くなった方等を調査して登録者の整理が必要である。

基本目標	1 心豊かな子どもを育み自己を磨き続けるむら
施策名	施策11 文化財保護と伝統文化の継承
施策主幹課	生涯学習課
関係課	

2023年度の取り組み

- 白山姫神社の磨崖仏周辺の雑木等の伐採や草刈りなどにより、周辺の環境整備に努めた。
- 松崎地区、元村地区、川原田地区、滑津原地区では、新型コロナウイルス感染症の影響が無くなったことから盆踊りを再開した。
- 滑津小学校の授業で、代畑地区汗かき地藏太鼓の体験学習を継続実施している。また、吉子川小学校では盆踊り太鼓の体験学習を新たに始めた。
- 福島県立博物館学芸員の協力により、復元品を活用して、小学生を対象とした体験学習を開催した。

施策の評価

総合評価 A

- 雑木等の伐採や草刈りなどによって、文化財の適正な維持管理が出来た。
- 汗かき地藏太鼓を学習発表会で披露できることが、指定文化財の啓発活動につながっている。
- 両小学校での地域の文化である汗かき地藏太鼓、櫓太鼓を子どもたちが体験することにより、地域文化を継承するきっかけとなる。お盆の際に地域の櫓で太鼓を披露する子どもがいる。
- 出土品の複製品等を常設展示することより、文化財への理解を深める教材となる。郷土愛の向上を図るべき小学生の体験学習は、県立博物館の学芸員を講師に招き、その複製品を活用して行っている。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
文化財維持修繕委託	102		
案内説明看板修繕	36		
体験学習事業費	37	合計	175

事業業績評価指数 (KPI)

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
伝統文化人材育成講習会 (回/年)	目標値	1	1	1	1	1
	実績値	1				
	達成度	100.0%				
四穂田古墳出土品体験学 習 (回/年)	目標値	2	2	2	2	2
	実績値	2				
	達成度	100.0%				

今後の取組

- 今後も、所有者（地区）と共同し、適切な維持保全に努めていく。
- 小針地区の「さくらまち太鼓」や盆踊り、熊野講、どんと焼き等の地域に根付いた伝統行事が継承されるよう支援に努める。
- これからも復元品等を活用し、体験学習会を継続していく。また、国指定文化財への指定については、学芸員との調査や新たな研究、また、出土品は村で保存する必要があることなど解決すべき課題が多いことから、今後はそのレプリカを PR 活動や体験学習等で有効活用する。

基本目標	1 心豊かな子どもを育み自己を磨き続けるむら
施策名	施策12 生涯にわたるスポーツライフの推進
施策主幹課	生涯学習課
関係課	

2023年度の取り組み

- さわやか中島杯ソフトボール大会は村スポーツ少年団が主体となり実施した。
- 体育協会（ソフトボール協会、野球協会、ゴルフ協会、卓球協会、グラウンドゴルフ協会、バスケットボール協会）が活動を行った。
- 市町村対抗ふくしま駅伝
- 市町村対抗軟式野球大会
- 市町村対抗ソフトボール大会
- 村民グラウンドゴルフ大会
- スポーツ推進委員は、委員の意識及び技術の向上を図りながらスポーツ活動を行い、4年ぶりに開催できたスポーツフェスティバルにおいても、企画運営から中心的役割をはたしている。
- 体育センター屋根の塗装工事を行った。
- これまで放置されてきたプール施設、洋式庭園部分の撤去工事を行った。

施策の評価

総合評価

A

- 村の各スポーツ団体は、感染症の流行状況に応じた活動が行われており、各種大会等に積極的に参加することなどから指導者発掘や後継者育成が進められ、競技の資質向上も図れている。
- スポーツ推進委員は、4年ぶり開催となったスポーツフェスティバルに事業計画から参画し、また、ふくしま駅伝の大会での支援活動で選手育成等積極的に取り組んでいる。
- 改善センター施設の整備計画については、基本設計が作成済みであるが、実施までの間は、適宜維持修繕を行っていく。
- これまで放置されてきたプール施設・洋式庭園部分について、今年度で撤去工事を完了したことから利用者の安全面が確保できた。今回整備した敷地については、今後の維持管理方法を検討する必要がある。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
スポーツ少年団補助	350	スポーツ推進委員報酬	157
体育協会補助	821	スポーツフェスティバル	806
さわやか中島杯実行委員会補助	130	改善センタープール施設解体等撤去工事	47,968
市町村対抗ふくしま駅伝補助金	1,700	改善センタープール施設解体等設計・監理委託	4,950
市町村対抗軟式野球大会補助	600		
市町村対抗ソフトボール大会補助	900	合計	58,382

事業業績評価指数（KPI）

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
スポーツ推進委員研修会 (回/年)	目標値	5	5	5	6	6
	実績値	4				
	達成度	80.0%				
スポーツレクリエーション活動 (回/年)	目標値	1	1	1	2	2
	実績値	1				
	達成度	100.0%				
体育センター、改善センター、グラウンド利用者数 (村民に対する割合) (%)	目標値	33.0	33.0	33.0	34.0	34.0
	実績値	33.4				
	達成度	101.2%				

今後の取組

- 体育協会に加盟している各団体での会員の減少傾向が見られるので活性化を図るための支援を検討する。
- スポーツ活動において、安全に正しく指導できる指導者の育成を目指し、児童館、社会福祉協議会など幅広い年齢層に応じたスポーツ活動と連携を図る。
- 改善センターの施設整備は基本設計を理想とするが、対応を急ぐ修繕箇所等を含む箇所を優先し、村民が使いやすいよう必要性に応じた段階的な整備を検討していく。

基本目標	1 心豊かな子どもを育み自己を磨き続けるむら
施策名	施策13 人材育成の推進
施策主幹課	企画振興課
関係課	

2023年度の取り組み

- 村民等が自ら計画又は参加する人材育成事業等を支援するため、事業等に要する費用の一部を補助する「中島村人材育成事業補助金」を実施しているが、今年度において実績はなかった。
- 年度当初の村広報やHPでの周知を行った。
- 2月にお天気キャスターを招き、気象・防災をテーマにセミナーを行った。
- 近年の自然災害に対することや日常生活の中での雲や風に関する疑問が寄せられ、講師の國本さんが一つひとつ丁寧にご対応くださいました。
- 受講者からは、防災・減災に努めていくとの声が聞かれ、災害に対する意識の向上を図りました。

施策の評価

総合評価 B

- 村広報やSNSでの周知は行っているが補助金の認知度が低いと考える。
- 村内企業や村民へチラシやポスターで周知を行ったが、申込者が少なかった。
- 講師選定から周知の仕方まで改めて見直しをする必要があると考える。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
人材育成セミナー	237		
		合計	237

事業業績評価指数 (KPI)

KPI名	区分	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
人材育成支援事業利用件数 (件/年)	目標値	1	2	3	4	5
	実績値	0				
	達成度	0.0%				

今 後 の 取 組

- 2032 年度に予算額最大の実績 10 件（中島村人材育成補助金）を目指すため、毎年度 1 件ずつ実績を増やすよう目標を掲げている。目標通りの実績となるよう、事業の周知を徹底し、多くの村民に事業を認知してもらえるようにする。
- 受講者アンケートの要望であったテーマに沿って講師を選定し、充実したセミナーとなるよう努める。
- より多くの村民の方に参加していただけるよう周知に努める。

基本目標	2 みんながいきいき暮らせるむら
施策名	施策14 健康づくりの推進
施策主幹課	保健福祉課
関係課	

2023年度の取り組み

- 生活習慣病予防・改善のための各種健診・がん検診、妊婦健診、乳幼児健診を実施したほか、各種健診及び検診の受診勧奨にも努めた。
- 健診結果説明会を開催し、健康に関する正しい知識の普及啓発に努めた。
- 各種健診・がん検診の受診勧奨を実施し、保健指導が必要な者に対して、指導の徹底に努めた。

施策の評価

総合評価 A

- 各種健診・がん検診の受診勧奨、保健指導を実施し、疾病の早期発見・治療に繋げることができた。
- 健康に関する正しい知識の普及啓発と情報提供ができた。
- 受診勧奨に努めたことで、疾病の早期発見・早期治療に繋がられた。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
各種健診・がん検診委託料	12,493	健康教育相談委託料	9
妊産婦健診・乳児健診委託料	2,190	未受診者受診勧奨事業	426
乳幼児健診報酬・費用弁償	915	保健指導事業	102
特定健診委託料	4,682		
後期高齢者健診委託料	1,198	合計	22,015

事業業績評価指数 (KPI)

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
特定健康診査受診率 (%)	目標値	44.1	44.2	44.4	44.5	44.7
	実績値	44.1				
	達成度	100.0%				
特定保健指導実施率 (%)	目標値	69.8	69.8	69.9	69.9	69.9
	実績値	69.8				
	達成度	100.0%				

今後の取組

- 1 か月健診費用助成事業を実施し、相談支援の場を拡充する。
- 今後も継続して健診結果説明会を実施していく。
- 今後も受診勧奨に努め、受診率向上を目指す。

基本目標	2 みんながいきいき暮らせるむら
施策名	施策15 豊かなシニアライフ
施策主幹課	保健福祉課
関係課	

2023年度の取り組み

- 第8期介護保険事業・中島村高齢者保健福祉計画の3期目で、計画に基づき事業遂行に努めた。
- 介護予防事業として、健康づくり交流センター輝らフィットにおいて、5月～3月に筋カスマイルクラブを行った。
- 10地区で実施している「ミニデイサービス事業」は健康推進員が中心となり年2回程度各地区公民館で開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染対策のため中止とした。
- 各地区において、住民主体のサロン活動を実施した。
- 「生活・福祉サービス」分野に関しては有償ボランティア「中島よかっぺ助け隊」を4月に立ち上げた。
- 「介護・医療・予防」分野においては介護サービスの給付適正化に努めた。また、月に1回認知症カフェを定期的に開催し、認知症の人が参加する場所作りと認知症の人に対する理解を深めていく活動を行った。

施策の評価

総合評価 A

- 第8期介護保険事業・中島村高齢者保健福祉計画の3期目であったが、介護保険給付費については、計画の数値とかけ離れたサービスも見られたが、おおむね計画通りであった。
- 高齢者保健福祉計画においては、計画通りに進まなかった事業も見受けられたため、計画的な事業遂行に向けて検討していく必要がある。
- 例年より筋カスマイルクラブの参加者が増え、介護予防に繋がったと考える。
- ふれあいサロンの参加者数が減少傾向にあるが、地域サロン交流会を今年度初めて開催し活発な意見交換が行われた。
- 「生活支援・福祉サービス」分野において有償ボランティアは立ち上がったが、ボランティアの利用者が少ない状態にある。住民への周知不足が要因だと考える。
- 「すまいとすまい方」分野においては免許のない人の交通手段が課題。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
第9期介護保険事業・高齢者保健福祉計画委託事業	3,740	ふれあいサロン	42
		生活支援体制整備事業	6,077
筋カスマイルクラブ(65歳以上)	3,977		
ステップアップ教室	1,205	合計	15,041

事業業績評価指数（KPI）

※「要介護認定推計値」は低ければ低い方が良い。

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
要介護認定推計値（％）	目標値	14.2	14.2	14.1	14.0	13.9
	実績値	15.2				
	達成度	7.0%				
ステップアップ教室参加人数（人/年）	目標値	28	28	29	29	30
	実績値	25				
	達成度	89.3%				

今後の取組

- 2024 年度から始まる第 9 期介護保険事業計画及び中島村高齢者保健福祉計画に基づき、介護給付費の適正化や適切なサービスの提供を行っていく。
- 健康づくり交流センター輝らフィットを有効に活用し、村民の健康づくりの推進を図る。
- それぞれの事業に関わるリーダー育成、参加者の拡大を図る。また、ふれあいサロンについては村全地区での開催をめざしていきたい。
- 「介護・医療・予防」分野において今後も介護給付適正化に努め、医療機関とも十分に連携しながら包括的なサービス提供体制の構築を目指す。また、小学生、中学生を対象に「認知症サポーター養成講座」の開催を予定している。認知症に対する理解と対応方法について学び、認知症の人々が地域で暮らせる地域づくりを行っていく。
- 「生活・福祉サービス」分野においては有償ボランティアの周知、内容の充実を図っていく。

基本目標	2 みんながいきいき暮らせるむら
施策名	施策16 障がい者への支援
施策主幹課	保健福祉課
関係課	

2023年度の取り組み

- 福祉サービス希望者には、村で委託している相談支援事業所がサービス利用計画を作成してもらい、希望通りに合った支給決定を行った。
- 相談支援・活動支援事業所への委託事業によるサービスの提供を行った。

施策の評価

総合評価 A

- 福祉サービスは希望通りに支給決定を行っている。
- 白河地域で設置している基幹相談支援センター及び各相談・活動支援事業所との連携により、相談支援体制の強化が図られている。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
障害福祉サービス費等	105,142		
相談支援事業	2,678		
		合計	107,820

事業業績評価指数（KPI）

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
福祉サービスの利用者数 (人/年)	目標値	41	42	43	44	45
	実績値	41				
	達成度	100.0%				
相談支援参加者の満足度 を測るアンケート実施 (回/年)	目標値	-	-	-	-	1
	実績値	-				
	達成度	-				

今後の取組

- 適正なサービス利用を行っていく。
- 基幹相談センターを中心とした各事業所等との連携による相談支援体制を継続する。

基本目標	2 みんながいきいき暮らせるむら
施策名	施策17 見守りの強化・支援
施策主幹課	保健福祉課
関係課	

2023年度の取り組み

- 民生委員協議会、地域包括センター及び社会福祉協議会を活用したネットワーク体制の充実を図る。
- 成年後見制度を住民に認知させるため、広報活動に力を入れた。
- 社会福祉協議会を中心とした支援サービスの提供を行った。
- 虐待、ひきこもり、生活困窮、生活保護等の相談を受け、民生委員、包括支援センター、県南保健福祉事務所、サポートステーション等と連携しながら、相談活動を実施した。
- また、2023年度より、ひきこもり等自立支援事業委託をアネシス学院と契約を締結した。

施策の評価

総合評価 A

- 民生委員協議会、地域包括センター及び社会福祉協議会を活用したネットワーク体制の充実が図られた。
- 成年後見制度の認知を行うため広報活動を行った。
- 今後支援が必要な方の調査等の実施に務める。
- 在宅介護事業所を中心としたサービス提供により、家族介護者の負担軽減が図られた。
- 中島村地域包括支援センターの活用により、住民からの介護相談に対応した。
- ひきこもり等自立支援事業を始め当初1名の利用を見込んでいたが、3名の利用があった。
- サポートステーションを利用して1名が就職活動中である。
- サポートセンターからのフードバンク利用者も数名いた。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
居宅介護サービス	103,544	高齢者世帯訪問事業	36
地域密着型介護サービス	16,878	緊急通報システム	602
居宅介護福祉用具・住宅改修	472	民生児童委員協議会負担金	130
介護予防サービス	8,856	ひきこもり等自立支援事業委託	183
介護予防福祉用具・住宅改修	597		
介護予防・生活支援サービス事業費	7,938	合計	139,236

事業業績評価指数 (KPI)

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
成年後見制度に関する講演会 (回/年)	目標値	-	-	1	1	1
	実績値	-				
	達成度	-				
家族介護教室の実施 (回/年)	目標値	1	1	1	2	2
	実績値	0				
	達成度	0.0%				

今後の取組

- 見守りネットワーク体制を継続して行う。
- 年々変化する独居高齢者の情報収集及び整理を行う。
- 成年後見制度有効利用のため、支援を必要としている方の支援体制の継続。
- 在宅介護についての的確なサービス提供へつなげ、家族介護者の負担軽減を図る。
- 中島村地域包括支援センターの活用継続。
- 今後も保健福祉課が窓口となり、各種サービスに繋げていく。
- 各種サービスの PR を行っていく。

基本目標	3 みんなで作り上げるむら
施策名	施策18 地域コミュニティの活性化
施策主幹課	住民生活課
関係課	

2023年度の取り組み

- 他市町村からの転入者が行政区に加入するよう勧奨案内を役場窓口に設置した。
- 行政区補助金、各役員報償を交付し活動支援を行った。
- コロナ禍における燃料費等の高騰に伴う電気料金の高騰に関する支援を行った。

施策の評価

総合評価 A

- 転入者に対して最寄りの行政区及び区長を紹介することにより、行政区加入の補助を行っている。
- 各地区への補助金は、各地区とも地域活動に有効活用されている。
- コロナ禍における変動的な要因（電気料高騰）への対応が出来た。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
行政区補助金	4,062		
区長、副区長、行政連絡員報償	1,988		
防犯灯電気料高騰支援補助金	117	合計	6,167

事業業績評価指数（KPI）

KPI名	区分	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
全地区平均行政区加入率 (%)	目標値	72.0	72.1	72.2	72.3	72.5
	実績値	69.8				
	達成度	96.9%				

今後の取組

- 各地区への補助金は、各地区とも地域活動に有効活用されている。
- 行政区からの要望事項の確認をいいつつ、適宜助成可能な事業への対応を行う。

基本目標	3 みんなで作り上げるむら
施策名	施策19 村民の行政参画
施策主幹課	総務課
関係課	

2023年度の取り組み

●村ホームページトップにパブリックコメント欄のバナーを設置することにより住民から広く意見を募り、行政の公正さの確保と透明性の向上を図った。

施策の評価

総合評価 A

●中島村高齢者保健福祉計画・第9期介護保険計画及び中島村障がい福祉計画策定についてパブリックコメントを実施し、住民から意見を募り、行政の公正さの確保、透明性の向上を図ることができた。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
		合計	0

事業業績評価指数 (KPI)

KPI名	区分	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
パブリックコメント募集 件数 (件/年)	目標値	2	3	3	3	3
	実績値	2				
	達成度	100.0%				

今後の取組

●庁内で取組を推進するとともに、村広報やHPなど様々な媒体を通じて、幅広い年代へ周知を図っていく。

基本目標	3 みんなで作り上げるむら
施策名	施策 20 行政サービスのDX
施策主幹課	総務課
関係課	企画振興課

2023年度の取り組み

●中島村 DX 推進基本方針は、近隣自治体の先進計画を参考に、DX 事業を実施する総務課と方針策定を行う企画振興課にて打ち合わせのもと、2024年4月1日に策定した。

施策の評価

総合評価	A
------	---

●計画通り基本方針を策定した。策定にあたっては、総務課及び企画振興課共同で内容を精査し、各課等に図ったのちに策定した。基本方針は、村ホームページに掲載している。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
		合計	0

事業業績評価指数 (KPI)

KPI 名	区分	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
DX 推進基本方針の策定 (未策定=0、策定=1)	目標値	1	1	1	0	0
	実績値	1				
	達成度	100.0%				

今後の取組

●基本方針のもと、2025年度に「総合戦略」の改訂を行い、村 DX 推進のため各課等にて事業を展開する。
●国や県の方針に併せて適宜見直しを行う。

基本目標	3 みんなで作り上げるむら
施策名	施策 21 職員の人材育成
施策主幹課	総務課
関係課	企画振興課

2023年度の取り組み

- 人事評価を、会計年度任用職員を含め全職員に実施したことにより、職員の能力、実績等を的確に把握し、組織の活性化を図った。
- 勤務経験年数や新任管理職等役職に応じた研修を必修として実施した。
- マイナンバー等個人情報の扱いについて及びハラスメント研修等社会情勢に応じた研修を実施した。

施策の評価

総合評価 A

- 人事評価における管理者との面談等を通じて、職員ひとり一人が責任を持って自主的・意欲的に業務を遂行できるよう促すことができた。
- 評価者による評価のばらつきは職員の不公平感につながることから、統一した評価基準で実施できるよう、研修等を行う必要がある。
- 各々の職階、職務における研修受講により、自身の立場や役割を認識できている。
- マイナンバー等個人情報の取り扱いなど、職務に必要な知識を得ることができる。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
ふくしま自治研修センター負担金	70		
各種講師謝金	357		
		合計	427

事業業績評価指数 (KPI)

KPI名	区分	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
※施策目標なし						

今後の取組

- 人事評価制度の客観性、信頼性、公平性をより一層確保するため、国・県等の機関を参考に充実を図っていくとともに、人事評価の研修について計画する。
- 業務において必要なスキルアップの研修や階級にあわせた研修を計画することにより、行政サービスの向上を図る。
- 対外的に対応する力やハラスメント防止等職場内の環境整備等にも対応していきたい。

基本目標	3 みんなで作り上げるむら
施策名	施策 22 健全な財政の維持
施策主幹課	総務課
関係課	税務課、企画振興課

2023年度の取り組み

- eLTAXの普及・推進（納付書にQRコード等を印刷し、キャッシュレス納付可能とした）。
- 口座振替納付の継続的推進。
- コンビニエンスストア納付（身近なコンビニで24時間支払い可能）。
- ふるさと納税業務を行う民間業者に業務委託し、ふるさと納税広告サイト「ふるさとチョイス」と「JREMALL ふるさと納税」に掲載してふるさと納税の募集を図った。

施策の評価

総合評価 A

- 納税者の利便性の向上及び徴収率向上を目的に、コンビニ収納に加えて、eLTAX（納税者がインターネット等を利用して税金を電子的に納付する方法）を導入した結果、コンビニ収納16%、eLTAX収納8%、口座振替28%と合わせて52%が納付書以外の方法で税金を納入していることとなった。
- ふるさと納税広告サイトについて「JREMALL ふるさと納税」を追加し、より多くの寄附者の目に留まるよう事業を実施した。JREMALLに登録することによって、首都圏の駅構内にポスターを掲示するなどを行い、前年度より寄附額が約80万円増加した。また、基金積立額は前年度より約60万円増加した。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
地方税共同機構負担金	250	ふるさと納税基金積立	1,608
コンビニ収納業務委託費	262		
ふるさと納税申込サイト広告料	50	※ふるさと納税寄附 2,832,000円	
ふるさと納税申込サイト手数料等	81		
ふるさと納税業務委託	1,089	合計	3,340

事業業績評価指数 (KPI)

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
経常収支比率(3ヶ年平均) (%)	目標値	83.5	83.2	82.9	82.6	82.2
	実績値	秋確定				
	達成度					
健全化判断比率 (3ヶ年平均) (%)	目標値	8.8	8.8	8.9	8.9	9.0
	実績値	秋確定				
	達成度					

今後の取組

- コンビニ収納、eLTAX、口座振替を推進するなど利便性の向上については、費用対効果を念頭に置きつつ、今後は、クレジットカードやペイジーなど電子決済による収納代行など、さらなる電子的収納環境の整備を検討する必要がある。
- ふるさと納税広告サイトとして「ふるさとチョイス」、「JREMALL ふるさと納税」に、「さとふる」、「楽天ふるさと納税」を加え、より一層の寄附増額を目指す。また、委託業者も変更し、寄附者にとって便利な寄附方法の検討を行う。

基本目標	3 みんなで作り上げるむら
施策名	施策23 男女共同参画
施策主幹課	総務課
関係課	

2023年度の取り組み

●中島村の行政付属機関等における各種委員会・団体等の女性委員の登用について、積極的な登用を啓発する通知を発出した。

施策の評価

総合評価

A

●組織への女性参画を促すことにより、引続き目標水準を達成することができた。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
		合計	0

事業業績評価指数 (KPI)

KPI名	区分	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
女性委員(役員)比率(%)	目標値	26.8	27.2	27.6	28.0	28.4
	実績値	24.2				
	達成度	90.3%				

今後の取組

●性別にとらわれることなく男女が共に政策・方針決定の場に参画することが重要であるため、委員会等における積極的な女性委員の登用を促していく。

基本目標	4 安全・安心して暮らせるむら
施策名	施策 24 防災体制の充実
施策主幹課	住民生活課
関係課	建設課

2023年度の取り組み

- 毎月1日朝7時に、防災無線による安全広報を実施した。
- 防災意識高揚のためホームページ等で啓発した。
- 中島村登録制メール及び防災・災害情報発信アプリにより、村の防災情報等を発信した。
- 広報紙に防災特集の記事を掲載し意識の向上を図った。
- 2021 度にハザードマップを全戸配布しており、令和 5 年度は新たな転入世帯等へ窓口で配布を行い、村民へ啓発活動を行った。
- 県発注の急傾斜地崩壊対策事業を進めた。
- 福島県と県内 59 市町村で大規模災害時における相互応援に関する協定を締結した。
- 中島村社会福祉協議会と災害ボランティアの設置・運営等に関する協定を締結した。
- 広報紙防災特集記事の中で、各家庭での必要な災害備蓄品リストを掲載し意識の向上を図った。

施策の評価

総合評価 A

- 防災関係チラシの配布、ホームページへの掲載、中島村登録制メールおよび防災・災害情報発信アプリにより防災意識が向上した。
- 新たな転入世帯等へハザードマップを配布し、啓発活動を行うことができた。
- 県発注の急傾斜地崩壊対策事業を進めた。
- 2023 年度は新しい自主防災組織の設立はなかった。
- 2 つの災害時協定を締結することができた。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
メール配信システム使用料・回線使用料	528		
防災・災害情報発信アプリ使用料	106		
		合計	634

事業業績評価指数 (KPI)

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
※施策目標なし						

今 後 の 取 組

- 今後も資料を配布し防災の呼びかけを継続する。
- 火災予防のため、春先乾燥時の野焼き等、時期にあった広報活動の実施を検討する。
- 登録制メール及び防災・災害情報発信アプリの登録者数増加を目指す。
- 村民に避難所指定施設を周知していく。
- 必要に応じた防災情報発信をしていく。
- 国・県による大雨・洪水時の避難基準等の見直しのタイミングに併せ、随時ハザードマップの更新を行い、村民に配布を行う。
- 引き続き急傾斜地崩壊対策事業を推進する。
- 自主防災組織設立を各行政区に働きかけていく。
- 協定締結数を毎年度1つずつ増やしていくことを目標とする。

基本目標	4 安全・安心して暮らせるむら
施策名	施策 25 消防体制の確立
施策主幹課	住民生活課
関係課	

2023年度の取り組み

- 2023年度は4名の方が中島村消防団へ入団した。
- 施設の老朽化に伴い、2施設でシャッターの修繕を行った。
- 強風により破損した屯所のシャッター修繕を行った。
- 老朽化した旧ポンプ置場を行政区の要望により撤去した。
- 6月：村操法大会を開催し技術向上を図った。
- 11月：秋の火災予防運動に伴う防御訓練を実施
- 1月：世界文化財防火デーにあわせて文化財防御訓練を実施
- 3月：春の火災予防運動に伴う防御訓練を実施

施策の評価

総合評価 A

- 新入団員が少なかった。
- 2023年度は消防機能向上のため設備を購入しなかった。
- 3施設のシャッター修繕を行った。
- 11月：秋の火災予防運動に伴う防御訓練 川原田地区で実施。
- 1月：世界文化財防火デーにあわせて文化財防御訓練 小針地区で実施。
- 3月：春の火災予防運動に伴う防御訓練 二子塚地区で実施。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
第1分団第5部(代畑) 屯所シャッタースラット修繕	88	第1分団第4部(小針) 屯所シャッター修繕	655
岡ノ内消防屯所シャッター交換工事	363		
岡ノ内地区旧ポンプ置場解体工事	352	合計	1,458

事業業績評価指数（KPI）

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
消防団新入団員数（人/年）	目標値	5	5	5	5	5
	実績値	4				
	達成度	80.0%				
防災・防衛訓練等実施回数 （回/年）	目標値	4	4	4	4	4
	実績値	4				
	達成度	100.0%				

今 後 の 取 組

- 新入団員が増えるよう広報、啓発活動を行っていく。
- 2023 年度は消防機能向上のため設備を購入しなかったため、今後装備を拡充していく。
- 老朽化により修繕が必要な施設の修繕を今後も行っていく。
- 消防自動車、消防用小型ポンプ等の機器の計画的更新が必要であり、更新する。（2025 年度消防車両更新（第 2 分団第 1 部（浦原））、消防用小型ポンプ更新予定）
- 上記 3 つの訓練と消防用機器の操作指導会等の開催を検討する。

基本目標	4 安全・安心して暮らせるむら
施策名	施策 26 防犯・交通安全の充実
施策主幹課	住民生活課
関係課	

2023年度の取り組み

- 防犯灯を村内9箇所に新設し、防犯対策を行った。
- 防犯診断を実施して、「防犯診断カード」、「火の用心」などのチラシを配布し注意喚起を行った。
- 防災無線放送により、なりすまし詐欺や車上荒らしの注意喚起を行った。
- 県道埴泉崎線と村道二子塚川原田線の交差点で事故が多発したため、カラー舗装等を行い通行する車両等へ注意喚起を行った。
- 老朽化した看板を撤去し、新しい看板を設置した。
- 上栄地区に新たに交通関係注意看板を設置した。
- 交通安全運動期間等の新聞広告や交通安全関係チラシの各戸配布など、交通安全の広報活動に取り組んだ。また、交通指導車を使い、村防犯パトロール隊による広報活動を行った。
- 交通安全運動期間中、村内主要道路2箇所と1事業所にのぼり旗を設置した広報活動及び滑津小学校による交通安全・防犯パレードを行い、交通安全注意喚起を行った。

施策の評価

総合評価 A

- 防犯灯新設は計画で10箇所新設を目標としていたが、新規設置が9箇所と1箇所減となってしまった。維持管理は計画通り実施された。
- 防犯診断により、村民に対し注意喚起を行うことができた。
- 交通安全注意喚起看板等を設置し通行者の交通安全意識向上が図れた。
- 交通安全期間中の広報活動により交通安全意識向上が図れた。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
交通安全対策工事	3,061		
		合計	3,061

事業業績評価指数 (KPI)

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
交通安全注意看板修繕 (回/年)	目標値	3	3	3	3	3
	実績値	3				
	達成度	100.0%				

今後の取組

- 今後も事故多発箇所に交通安全対策工事を実施する。
- 福島県公安委員会管轄である信号機、道路規制等については、随時要望活動を行う。
- 交通安全運動期間中の広報活動を継続していく。

基本目標	4 安全・安心して暮らせるむら
施策名	施策 27 医療体制の確保
施策主幹課	保健福祉課
関係課	

2023 年度の取り組み

- 休日当番医・歯科医療の体制確保に努めた。
- 2023 年度より、福島県で救急安心センターの運営を開始し協定を締結した。#7119(救急電話相談)のチラシ配布や広報紙に#8000(小児夜間電話相談)と共に掲載している。
- 救急医療体制の確立を含め医師確保するため、白河厚生総合病院、白河病院、会田病院へ支援を行った。

施策の評価

総合評価 A

- 2023 年度より開始した#7119 が 20 名以上の村民が利用した。
- 白河消防署東分署から救急車の出動要請が多すぎると言われた。
- 白河病院は、支援の成果があり医師確保に繋がった。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
第二次救急医療運営費負担金	1,384	私的二次救急医療機関支援(白河病院)	1,110
初期医療対策事業(在宅当番医制事業)	240	救急医療体制維持に係る助成金(会田)	1,300
初期医療対策事業(休日歯科診療事業)	113	医療体制の維持・充実(厚生病院)	1,400
小児平日夜間救急医療事業負担金	106	小児及び周産期医療体制確保(厚生)	2,000
救急電話相談運営負担金	237	合計	7,890

事業業績評価指数（KPI）

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
※施策目標なし						

今 後 の 取 組

- 引き続き、#7119 のPRを、広報紙等を活用しながら行っていく。
- 併せて小児平日夜間救急医療のPRも行っていく
- 医療体制の維持・充実のための白河厚生総合病院への支援金が、2023 年度で終了予定だったが、3 年間の追加支援が決定した。

基本目標	4 安全・安心して暮らせるむら
施策名	施策 28 風評被害払拭
施策主幹課	住民生活課
関係課	企画振興課

2023年度の取り組み

- 測定機器の定期メンテナンスを行い、住民からの要望に迅速に対応できる体制を整えた。
- 村民からの測定依頼に対して県南農林事務所と連携し、測定対応を実施。
- 首都圏において村産品の販売等を行い、村産品の魅力をPRするとともに風評被害払拭に資する事業を行う団体を支援した。

施策の評価

総合評価 A

- 測定機器のメンテナンスを行うことで、村民がいつでも測定できる環境作りを行った。
- ブランド・イメージ回復支援事業について、2団体において首都圏でのPRを実施した。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
自家消費野菜等放射線量測定事業	440		
ブランド・イメージ回復支援事業	326		
		合計	766

事業業績評価指数 (KPI)

KPI名	区分	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
※施策目標なし						

今後の取組

- 村民から測定依頼があれば、都度対応を速やかに行う。
- 風評被害払拭のため、村産品のPR事業を実施する団体の支援をしていく。

基本目標	5 環境豊かで快適な住みよいむら
施策名	施策 29 道路の整備
施策主幹課	建設課
関係課	学校教育課

2023年度の取り組み

- 県道へアクセスする際の円滑な交通の促進が期待される幹線道路下記路線について、継続事業として実施している。
 - ・ 滑津後山線改良事業
全体延長L=1,300m 2023年度：改良工L=60m
- 道路管理者や警察と連携し、毎年通学路安全推進会議を開催。学校からの通学路における要望や危惧している点を実見し、道路管理者等に改善を要望するとともに、学校において交通安全教育を実施した。
- 県道棚倉矢吹線整備の中島北工区早期完了に向け、県と一体となって事業の推進を図った。
- 3月に生涯学習センター輝ら里において住民説明会を実施した。
- 県道泉崎石川線歩道新設の事業化に向け、県へ要望した。
- 農道長寿命化計画に基づき、農作業の利便性向上と道路の長寿命化を図るため改良工事（アスファルト舗装）を行った。
- 村内農道のパトロールを行い、損傷箇所等の維持補修を行った。
- 村管理の道路・橋梁について、定期的なパトロールを実施し、必要箇所の維持補修を行い、安全を確保した。
- 降雪時に除雪作業を実施した。

施策の評価

総合評価 A

- 県道へアクセスする際の円滑な交通の促進が期待される幹線道路下記路線について、補助事業を活用し、用地補償・改良工を実施した。
 - ・ 滑津後山線改良事業（全体延長L=1,300m R5年度：改良工L=60m）
- 通学路安全推進会議を通して、各関係機関との情報共有や道路状況の改善が図られている。
- 県道棚倉矢吹線整備の中島北工区早期完了に向け、県と一体となって事業の推進を図った。
- 3月に生涯学習センター輝ら里において住民説明会を実施した。
- 県道泉崎石川線歩道新設の事業化に向け、県へ要望した。
- 2023年度に予定していた農道路線の工事が完了した。
- 村管理の道路・橋梁について、定期的なパトロールを実施し、必要箇所の維持補修を行い、安全を確保した。
- 降雪時に除雪作業を実施し、安全を確保した。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
幹線道路の整備（滑津後山線）	10,747	道路・橋梁の維持管理	1,455
農道整備測量設計業務委託	41,349	除雪作業	11,391
農道改良工事	131,307	合計	196,249

事業業績評価指数（KPI）

KPI名	区分	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
村道舗装率（%）	目標値	94.9	94.9	94.9	94.9	94.9
	実績値	94.9				
	達成度	100.0%				
農道長寿命化事業計画に基づく農道舗装率（%）	目標値	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
	実績値	61.0				
	達成度	67.8%				

今後の取組

- 引き続き補助事業を活用し、幹線道路（滑津後山線）の早期完了を目指し事業を進めていく。
- 今後も各関係機関の協力を得ながら通学路安全推進会議や交通安全教育を実施し、通学路の安全向上と事故防止に努める。
- 県道泉崎石川線歩道新設の事業化に向け、県へ要望していく。
- 年次計画に基づき、引き続き農道整備を進めていく。
- 村管理の道路・橋梁について、定期的なパトロールを実施し、必要箇所の維持補修を行い、安全確保に努める。
- 降雪時には除雪作業を実施し、安全確保に努める。

基本目標	5 環境豊かで快適な住みよいむら
施策名	施策 30 簡易水道施設の維持管理
施策主幹課	建設課
関係課	

2023年度の取り組み

- 水質検査業務委託を実施した。
- 施設の運転に支障をきたしている機械設備の交換を実施した。
- 漏水調査を実施したことで、漏水箇所の把握に努めた。
- 老朽化が激しい水道本管の更新工事を実施した。
- 第三水源及び浄水場等の維持管理業務委託を実施した。

施策の評価

総合評価 A

- 水源、浄水場、使用水栓の水質について、必須項目と任意項目の検査を実施し、水質の安全性の確保に努めた。
- 機械設備の交換を実施し、施設の適切な維持管理に努めた。
- 漏水箇所を把握し、補修工事を実施したことで有収率の低下を防いだ。
- 老朽化が激しい水道本管の更新工事を実施したことで、水道本管の耐震化に努めた。
- 第三水源及び浄水場等の維持管理業務委託を実施したことで、専門的な見地から適切な維持管理を実施することができた。また、施設を常時運転することで、有事の際にも使用できる体制を確保した。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
水質検査業務委託	1,258	滑津原地区漏水調査業務委託	1,760
浄水場ろ過機 No.2 ろ過材交換・塗装工事	21,450	生活基盤施設耐震化等交付金事業排水管更新工事（松崎地区）	37,827
第3水源水位計交換工事	1,540	簡易水道施設運転管理業務委託	7,524
第3排水池水位計交換工事	1,452	合計	72,811

事業業績評価指数（KPI）

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
水道本管（石綿管）の更新 （%）	目標値	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0
	実績値	13.6				
	達成度	90.7%				

今 後 の 取 組

- 引き続き水質の検査を実施し、水質の安全性の確保に努めていく。
- 今後も機械設備を計画的に交換し、安定的に水を供給できる体制を確保していく。
- 今後も漏水箇所の把握及び水道本管の更新工事を検討していきたい。
- 今後も施設の維持管理業務委託を実施し、適切な維持管理に努めていきたい。

基本目標	5 環境豊かで快適な住みよいむら
施策名	施策31 農業集落排水処理施設の維持管理
施策主幹課	建設課
関係課	

2023年度の取り組み

- 集落排水事業の適切な運用のため、施設の維持管理委託を行った。
- 各処理施設において、機器の更新を実施した。
- マンホール及び管路埋設部分の道路舗装の補修を実施した。

施策の評価

総合評価 A

- 処理施設維持管理を外部に委託することで、専門的な見地から適切な処理施設の維持管理に努めた。
- 各処理施設において、機器の更新を実施した。
- マンホール周辺の舗装面の補修工事を行ったことで、雨水等の混入を減らすことができた。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
農業集落排水事業維持管理業務委託	15,400		
施設維持補修工事	20,789		
管路埋設部路面補修工事	7,260	合計	43,449

事業業績評価指数（KPI）

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
※施策目標なし						

今 後 の 取 組

- 今後も適切な農業集落排水処理施設の維持管理に務める。
- 各処理施設において計画的に機器の更新をしていくことで、安定的な処理運転に努める。
- 滑津原地区、吉子川地区処理場の機能強化事業に向けて工事を行う。
- 不明水の流入が多い滑津原・吉子川地区について、機能強化事業で管路補修を行う。

基本目標	5 環境豊かで快適な住みよいむら
施策名	施策 32 童里夢公園の整備・活用
施策主幹課	建設課
関係課	

2023年度の取り組み

- 公園維持管理における目視点検を定期的を実施した。劣化箇所について、修繕を行った。
- 経年劣化により腐食等がみられたバーベキュー広場及び、新池土留柵の改修工事を行った。
- ヨカッペ時計やトイレ、噴水設備などの修繕を行い、公園の維持管理に努めた。
- 公園維持管理の中で、簡易的な遊歩道の補修を行った。
- 園内で発生した枝木をチップ処理した後、敷き均し、利用しやすい遊歩道を整備した。

施策の評価

総合評価 A

- 設置から 20 年以上経過する遊具も存在するため、定期的に点検を行い、修繕等検討していく必要がある。
- 利用を中止していたバーベキュー広場の改修工事を行い、利用を再開することができた。
- 腐敗している木製階段や柵がみられるので、計画的に改修を行う必要がある。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
修繕料（遊具関係）	495	新池土留柵改修工事	24,111
修繕料（公園設備）	745	公園内枝葉等処分業務	1,073
バーベキュー広場改修工事	6,270	合計	32,694

事業業績評価指数 (KPI)

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
※施策目標なし						

今 後 の 取 組

- 遊具点検が法令化されたことから令和 6 年度以降は毎年遊具点検を実施する。
- 劣化がみられる遊具等の計画的な修繕や改修を行う。
- 街路灯の修繕や防犯カメラの設置を行い、防犯機能を高める。
- 来園者に居心地よく安全に利用してもらえるよう、施設の維持管理に努めていく必要がある。
- 劣化がみられる遊歩道や木製階段等について、計画的に修繕・改修を行っていく。

基本目標	5 環境豊かで快適な住みよいむら
施策名	施策 33 農村公園及び地区公園の整備
施策主幹課	建設課
関係課	

2023年度の取り組み

- 定期的にパトロールを行い、危険箇所等の点検に務めた。

施策の評価

総合評価

A

- 経年による劣化がみられる地区が存在するため、適宜地域住民から情報収集を行い、適切に管理する必要がある。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
		合計	0

事業業績評価指数 (KPI)

KPI名	区分	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
※施策目標なし						

今後の取組

- 行政区からの要望等を参考に、撤去・改修を検討する。

基本目標	5 環境豊かで快適な住みよいむら
施策名	施策 34 住宅環境の整備
施策主幹課	建設課
関係課	

2023年度の取り組み

- 耐震診断者派遣事業の公募を行った。
- 長寿命化計画に基づき、修繕工事設計業務を行った。

施策の評価

総合評価 A

- 耐震診断者派遣事業の公募を行った。今年度の申請数は0件だった。
- 公営住宅長寿命化計画に基づき、修繕工事設計業務を計画通りに実施した。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
耐震診断者派遣業務	312		
村営住宅修繕工事設計業務委託 (長寿命化計画)	7,300		
		合計	7,612

事業業績評価指数 (KPI)

KPI名	区分	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
※施策目標なし						

今後の取組

- 引き続き耐震診断者派遣事業の公募を行う。
- 広報紙等を活用し、派遣事業の周知を進める。
- 公営住宅長寿命化計画に基づき、修繕工事設計業務及び修繕工事を行う。
- 今後も適切な村営住宅の維持管理に務める。

基本目標	5 環境豊かで快適な住みよいむら
施策名	施策 35 地域交通体制の充実
施策主幹課	住民生活課
関係課	

2023 年度の取り組み

- 広報紙にてデマンド交通の案内を掲載した。
- デマンドバス利用者に、巡回コース等変更についてのアンケートを実施。

施策の評価

総合評価 A

- 高校生の利用者が減少しており、今後利用者の人数に合わせたバスの配車・巡回コース等見直しを実施した。
- 2024 年度より朝の定期便を泉崎方面及び石川方面どちらも 2 便から 1 便に減便とし、乗車場所及び乗車時間を変更するためのアンケートを実施した結果、ほとんどの利用者から今後も利用するとの回答を得た。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
新多目的交通システム補助金	22,000		
		合計	22,000

事業業績評価指数（KPI）

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
乗合タクシー利用者数 (人/年)	目標値	2,900	3,000	3,100	3,200	3,300
	実績値	4,273				
	達成度	147.3%				

今後の取組

- 広報紙やホームページ等により、住民への周知を図り、利用者の拡大を図る。
- 今後利用者の人数に合わせたバスの配車・巡回コース等について、2024 年度より運行方法を変更し、今後も利用状況により検討していく。
- デマンド利用についてのアンケートを行い、利用方法をよりよくするための意見をまとめていく。

基本目標	5 環境豊かで快適な住みよいむら
施策名	施策 36 環境への取り組み
施策主幹課	住民生活課
関係課	企画振興課

2023年度の取り組み

- 10月の行政文書配布の際に白河地方広域市町村圏整備組合から提供のあったごみ減量化に関するチラシの全戸配布を行い、村民のごみ減量化・リサイクルに関する意識の向上を行った。
- 生垣整備事業について、広報紙を活用し広く村民に周知した。
- 記念樹交付について、広報紙を活用し広く村民に周知した。
- 上期は9月、下期は3月に記念樹の交付を行った。

施策の評価

総合評価 A

- 一部を除き、ごみを適切な袋に入れて捨てることによりリサイクルの促進、ごみの減量化を図った。
- 全村公園計画に基づく生垣整備事業補助を実施したが、申請件数は0件だった。
- 全村公園計画に基づく出生（11件）・新築（4件）に対する記念樹交付を実施。前年度比で、申請者数は減少した。
- 近年は少子化や、新築住宅の敷地面積が減少し、記念樹交付希望者が減少しつつある。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
記念樹交付事業	75		
		合計	75

事業業績評価指数 (KPI)

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
リサイクル率 (%)	目標値	10.2	11.4	12.6	13.8	15.1
	実績値	10 月確定				
	達成度					

今後の取組

- 外国人の方にもごみの分別がわかりやすいような広報活動を行う。
- 生垣整備補助事業について、引き続き広報紙を活用、また SNS も利用し周知する回数を増やす。
- 記念樹交付事業について、引き続き広報紙を活用、また SNS も利用し周知する回数を増やす。

基本目標	5 環境豊かで快適な住みよいむら
施策名	施策 37 移住・定住の促進
施策主幹課	企画振興課
関係課	

2023 年度の取り組み

- 今年度新たに移住・定住それぞれの要素を1つにしたパンフレットの作成を行った。
- 村イメージキャラクターを掲載することで手にとった方に読みやすい印象をもってもらえるよう工夫を行った。
- 各種イベント等での配布を行った。
- 村 HP 等で周知を行った。

施策の評価

総合評価 A

- 村で実施する支援事業を中心に掲載しており、移住者等に必要な情報をわかりやすくまとめることができた。
- イベント等での配布を行い、中島村について多くの人に知っていただいた。
- 相談件数は4件ほどあったが、条件が厳しく該当となる者はいなかった。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
パンフレット作成業務委託費	394		
		合計	394

事業業績評価指数（KPI）

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
移住者数（人/年）	目標値	7	8	9	10	11
	実績値	8				
	達成度	114.3%				

今後の取組

- 各年度で内容の更新を行い、読みやすくわかりやすいパンフレットづくりに努める。
- 2024 年度から本事業のほか、村独自の移住支援金を開始する。
- 本事業も実績に繋がるよう、様々な方法で情報を発信し PR する。

基本目標	5 環境豊かで快適な住みよいむら
施策名	施策 38 移住・定住環境の整備
施策主幹課	建設課
関係課	

2023年度の取り組み

- 空き家調査未実施。
- 空き家バンク導入に向けて、説明会や民間企業との打合せを通して情報収集を行った。

施策の評価

総合評価 B

- 現在本村には空き家の存在が確認されていないが、空き家に関する問い合わせが度々あるので、情報整理や、対応を検討する必要がある。
- 空き家バンク制度導入に着手できていない状況である。
- 2023年度については契約数が0件であったが、問い合わせが数件あった。村外認知度が低いので、より周知できる手段を検討していく必要がある。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
原山販売チラシ	297		
		合計	297

事業業績評価指数（KPI）

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
※施策目標なし						

今 後 の 取 組

- 現在は本村において空き家はないが、今後年々増えることが見込まれるので、速やかに現状を把握し、補助制度等を検討したい。
- 他市町村の取り組みや、連携企業からの情報等を参考に、導入を進めていく。
- 残り区画の早期完売を目指す。
- 若い世代・子育て世代の定住化を図るための施策を検討する。

基本目標	6 地域の活力を活かしたむら
施策名	施策 39 土地の有効利用
施策主幹課	企画振興課
関係課	

2023 年度の取り組み

- 国土利用計画見直しに向けた、計画準備を行った。
- 令和元年度に農業振興地域整備計画の総合見直しが完了し、令和2年度より新しい農業振興地域整備計画を運用した。
- 年2回、農用地利用計画変更申出の受付を行った。
- 県より改正通知があり、それに従って村計画の改正を行った。

施策の評価

総合評価	A
------	---

- 2023年度において、国土利用計画の見直しが必要な状況には至らなかった。
- 農用地利用計画変更申出（用途区分変更）を1件受け付け、変更が完了した。
- 地域森林計画の改正を県の指示通りスムーズに行うことができた。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
		合計	0

事業業績評価指数（KPI）

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
農業振興地域の土地利用 状況（%）	目標値	97.1	97.2	97.3	97.4	97.5
	実績値	99.4				
	達成度	102.4%				

今後の取組

- 2019 年度に総合見直しを行った中島村振興地域整備計画や、中島村第 6 次総合振興計画などの運用状況をみて、計画の見直しが必要な場合は迅速に対応できるよう準備をしておく。
- 今後も農用地利用計画について随時変更申出を受け付け、変更の必要が認められれば年 2 回変更手続きを進める。
- 適宜、地域森林計画の改正を行う。

基本目標	6 地域の活力を活かしたむら
施策名	施策40 農業の支援・振興
施策主幹課	企画振興課
関係課	

2023年度の取り組み

- 新規就農者や後継者等の確保・育成のため、国や県、JA等の関係機関と連携し、就農相談や経営に対する支援等を行った。また、既認定新規就農者に安定した経営を実践していくために経営状況に関して助言等の支援を行った。
- これまでの実質化した人・農地プランを基に、現在の各地区の農地・農家の実情を把握するため、農地の保有及び利用の状況、農地の所有者並びに担い手等の意向状況調査を行った。
- 農地の所有者が積極的に認定農業者等に農地を貸し出し、農地流動化が進み農地の利用集積につながった。

施策の評価

総合評価 A

- 今年度新規就農者育成総合対策事業の取組はなかったが、就農相談会等での情報提供を行い、さらに関係機関と連携し就農相談体制を充実させ、担い手の確保並びに農業技術に関する情報などを提供していくことが必要である。
- 各地区の農地の利用状況を把握することで、中心となる経営体が今後の地域の農業のあり方について把握できる。今後、さらに農業技術に関する情報などを提供し、関係機関と連携していくことが必要である。
- 農地の所有者が積極的に認定農業者等に農地を貸し出し、農地流動化が進み農地の利用集積につながった。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
地域計画策定推進緊急対策事業	1,198		
農地流動化推進助成金	1,494		
		合計	2,692

事業業績評価指数 (KPI)

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
新規就農者数 (人/年)	目標値	1	1	1	1	1
	実績値	0				
	達成度	0.0%				
認定農業者数 (人/年)	目標値	75	75	75	75	75
	実績値	73				
	達成度	97.3%				

今後の取組

- 毎年1件の実績を達成し、認定農業者数の減少を抑えるため JA 等の関係機関と情報交換を密にし、さらに連携を強化して村内における新規就農者の発掘に努め、将来的な担い手を確保する。
- 各地域の中心となる農業経営者が地域農業の発展形を構築していけるよう、関係機関と連携し支援する。また、将来的な担い手を毎年確保し、後継者や認定農業者の減少を抑える。
- 農地の流動化を推進し、認定農業者等に農地の利用集積が進むよう引き続き事業を実施する。

基本目標	6 地域の活力を活かしたむら
施策名	施策41 有害鳥獣への対応
施策主幹課	企画振興課
関係課	

2023年度の取り組み

- 猟友会に業務を委託し有害鳥獣の捕獲・駆除を行った。
- 農家から多く被害相談を受けているハクビシンやタヌキに関して、猟友会に情報提供を行いわなの設置を行った。
- 近隣の状況や支援事業についての情報整理を行った。
- 有害鳥獣の被害、目撃情報等の情報整理をおこなった。

施策の評価

総合評価	A
------	---

- 農家からの被害状況を受け、猟友会へ情報をつなぎ素早く対応することができた。
- 昨年度の被害や目撃件数が多い地域を中心にわなの設置を行うことで短い実施期間の中でもより効果的に事業を実施することができた。
- 村での支援事業等がないため、今後検討していかなければならない。
- 農家からの情報で、村内全域で目撃や被害が増加している。
- 猟友会で捕獲・駆除を行っているが、村内全体の被害状況や生息状況の整備を行うことが出来ていない。
- 村全体や地域ごとの対策を行うことが出来ていないのが現状である。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
有害鳥獣捕獲業務委託	616		
		合計	616

事業業績評価指数（KPI）

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
※施策目標なし						

今後の取組

- 農作物被害の相談が多いため、猟友会と協力し今後も被害防止に努める。
- 農作物被害の件数を減らすよう努める。
- 今後は猟友会とも情報を共有し体制の整備を行う。
- 村全体や各地域単位での対策の策定に努める。

基本目標	6 地域の活力を活かしたむら
施策名	施策 42 企業誘致と雇用の確保
施策主幹課	企画振興課
関係課	

2023年度の取り組み

- 県内外企業に情報提供するため、県が作成する企業ガイドに掲載や県からの誘致場所照会への情報提供を行った。
- 村内企業を訪問し、規模拡大等への情報提供や企業を紹介する事業への参加誘致等を行った。

施策の評価

総合評価 B

- 規模拡大を行った村内企業もあったが、セミナーやセールスは実施できなかった。
- 企業誘致を図るための県への情報提供等は行った。
- 企業誘致や拡大を図るためには、企業訪問を積極的に行い情報の共有や提供をすることにより、連携を強化する必要がある。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
		合計	0

事業業績評価指数 (KPI)

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
村内企業訪問回数 (回/年)	目標値	5	7	8	10	11
	実績値	2				
	達成度	40.0%				

今後の取組

- セミナーやセールスは実施できなかったため、今後は積極的に活用して誘致を図る。
- 村内企業の訪問について、積極的に行い連携を強化することにより、雇用の創出や既存企業の事業拡大等を推進する。

基本目標	6 地域の活力を活かしたむら
施策名	施策 43 商業の支援
施策主幹課	企画振興課
関係課	

2023 年度の取り組み

- 特色のある商店の育成や誘致のため、村内外からの集客を目指すため地域商業の活性化を図るため、魅力ある商店づくりを行う事業者へ情報提供した。
- 中島村商工会事業助成のため、補助金を交付した。
- プレミアム商品券販売事業の補助、なかじま輝ら×2 秋まつりの開催を支援した。

施策の評価

総合評価 A

- 特色のある商店の育成や誘致には結びつかなかったため、積極的に情報の提供や収集が必要である。
- 商工会事業への助成により、各種活動の活性化が図られた。
- プレミアム商品券発行補助したことにより、商工業の活性化が図られた。
- 4年ぶりに開催したなかじま輝ら×2 秋まつりを支援した。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
商工会補助金	5,000		
プレミアム商品券発行補助	2,822		
秋まつり補助金	3,000	合計	10,822

事業業績評価指数（KPI）

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
※施策目標なし						

今 後 の 取 組

- 魅力ある商店づくりを行う事業者支援を積極的に行い、特色のある商店の育成や誘致、村内外からの集客を目指すため地域商業の活性化を図る。
- 今後も商工会への助成を継続実施し、村商工振興に寄与していく。
- プレミアム商品券発行補助については、運用継続について検討していく。
- イベントの開催において、今後も商工会と積極的に関わり実施していくが、なかじま輝ら×2 秋まつりの開催については、徐々に商工会主催のイベントにしていく。

基本目標	6 地域の活力を活かしたむら
施策名	施策 44 観光基盤の整備
施策主幹課	企画振興課
関係課	

2023 年度の取り組み

- 観光振興により交流人口を図るため、各種PRイベントに積極的に参加し、村の魅力発信と地域の活性化に努めた。
- 村特産品のトマト甘酒の材料提供を行った。トマト甘酒は、村ふるさと納税の返礼品となっているほか、県内多くの直売所や道の駅で販売されているほか、製造事業所のインターネット販売でも取り扱っている。
- 村の米を使った米粉麺について試作し、3月のPRイベント（名古屋市）にて配布をし、アンケートを実施した。

施策の評価

総合評価 A

- 県や県南9市町村連携で開催されるイベントや福島県広報課主催のイベント等に積極的に参加しPRした。
- トマト甘酒は、様々な販売経路から村PRを図れた。
- 米粉麺については、イベント参加者から多数のアンケートをいただいた。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
イベント出展旅費	254	トマト甘酒ラベル作成	126
PRグッズ消耗品費	3,559	トマト甘酒原材料購入費	12
イベントグッズ発送料	175	米粉麺原材料購入費	32
イベント駐車場使用料	18	定住自立圏6次化負担金	10
イベント出展料	550	合計	4,736

事業業績評価指数（KPI）

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
観光誘客入込数 (人/1～12月)	目標値	19,300	19,600	19,900	20,200	20,500
	実績値	17,388				
	達成度	90.1%				

今後の取組

- 村独自のイベントのみでは魅力に欠けるため、県や県南9市町村連携でのイベント等に参加しPRしてきたが、新たな観光資源の発掘や開発を図る必要がある。
- 既存のトマト甘酒の更なるPRを実施するほか、新たな特産品開発ができるよう情報収集を行い、村PRを図る。
- 米粉麺については、アンケート結果が良好であったため、今後の状況を勘案しながら特産品化を検討する。